

授業科目 NO. 119 国際社会学

Transnational Sociology

授業の形態：講義

単位数（時間数）：1単位（15時間）

開講年次・学期：1年次・後期

必修・選択の別：必修

キーワード：国際保健医療、グローバリゼーション、国際協力、医療人類学、地域と医療

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学修目標

1) 一般目標（GIO）

将来社会に出たときに、一人の人間として、日本人として、または地球市民として、医療にまつわる事象に対して相対的・多角的に考え、行動できるようになることをめざす。講義以外に、グループ単位で課題について調べ、発表・討論をすることによって、チーム・ワークやコミュニケーション能力を高める。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) グローバルヘルスについて理解し、国際社会の課題として説明できる。(⑤)
- (2) グループで協力し、医療にまつわる国際社会の課題や問題について知識を蓄え、情報を収集することができる。(④)
- (3) 学生間でグローバルな視点とローカルな視点から(2)の課題や問題への対処や解決策について討論できる。(①③④⑤)
- (4) 一人の人間、日本人、地球市民として将来、国際社会とどのように付き合っていくのか、自分の考えを述べられる。(①③④⑤)

3 学修内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
グループ発表・質疑応答	50%
実習成績	%
レポート	%
授業態度（グループワーク）	10%
小テスト（コメントシート）	40%
その他	%
合計	100%

（特記事項）小テスト：授業後に課すコメントシートの記入4回中3回が小テスト

5 教 育 担 当 者

科目責任者：坂井 紀公子

非常勤講師 坂井 紀公子

6 教 科 書

使用しない。教員作成のプリントを配布。

7 推 薦 参 考 書

必要時、授業中に紹介する。

8 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学修・事後学修として計180分程度必要である。

- 1) 事前・事後学修：講義内容を踏まえて、気になった地域、出来事、専門知識について調べて理解を深める。その際、講義中に内容に関係したWEBサイトや資料を紹介するので、積極的に活用すること。
- 2) 上記と併せて、7回目と8回目に行うグループ発表で使用する資料・データの収集と分析も日頃から進めておく。

9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

毎回提出のコメントシートへのフィードバックを次の講義で行う。

グループ発表時の質疑応答で発表に関してフィードバックを行う。

10 履修上の注意事項

進行状況に応じて内容を調整することがある。

11 オフィスアワー等

質問は講義の前後にまたはメール（kikuko.sakai.01@gmail.com）にて受け付ける。

第1学年

国際社会学

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1(0.5)	10月03日(木)	2	講義	[テーマ] イントロダクション [概要] シラバス確認と授業の進め方や評価方法の説明			坂井非常勤講師
後	2	10月10日(木)	2	講義	[テーマ] グローバルヘルスについて [概要] 保健医療を国際社会の課題として考える	コメントシート(小テストとする)配布:成績評価対象		坂井非常勤講師
後	3	10月17日(木)	2	講義	[テーマ] 感染症について [概要] 事例を通して対策の困難さを考える	コメントシート(小テストとする)配布:成績評価対象		坂井非常勤講師
後	4	10月24日(木)	2	講義	[テーマ] 母子保健について [概要] 事例を通して「出産」の見方の多様性を考える	コメントシート(小テストとする)配布:成績評価対象		坂井非常勤講師
後	5	10月31日(木)	2	講義	[テーマ] 医療にまつわる国際協力の難しさについて [概要] 講師の調査地紹介	コメントシート配布:成績評価対象		坂井非常勤講師
後	6	11月07日(木)	2	演習	次回の発表資料をGoogle slides をつけてグループで作成する	グループワーク		坂井非常勤講師
後	7	11月14日(木)	1	演習	前半5グループの発表と質疑応答:定期試験	グループ発表、討論		坂井非常勤講師
後	8(7.5)	11月14日(木)	2	演習	後半5グループの発表と質疑応答:定期試験	グループ発表、討論		坂井非常勤講師